

KTS OPEN SERVICE

3D データ生成(試供版)

利用マニュアル

目次

1. アカウント作成/ログイン	3
1-1. アカウント作成	3
1-2. ログイン	5
2. プロジェクトとフォルダの作成	8
2-1. プロジェクトの追加	8
2-2. フォルダの追加/データのアップロード	10
2-3. フォルダの編集等	12
3. 3D データの生成	14
3-1. 3D データの生成	14
3-2. データ生成の詳細設定	18
4. 結果の確認	21
5. 距離の計測	23
5-1. 基準距離の設定	23
5-2. 距離の計測	25
6. 地図への配置	27
7. 解析が安定しやすいデータの特徴	32

1. アカウント作成/ログイン

1-1. アカウント作成

ログイン画面下部にある「アカウント作成はこちら」をクリックします。



情報サービスコンサルタント
KTS

3Dデータ生成 ログイン

メールアドレス
メールアドレス

パスワード
パスワード

[パスワードをお忘れですか?](#)

ログイン

アカウント作成はこちら

名前、メールアドレス、会社名、支店名・部署名、パスワード
を入力し、「登録」をクリックします。

※利用規約への同意がないとアカウント作成できません。



情報サービスコンサルタント
KTS

アカウント登録

アカウントを作成するために、以下の情報を入力してください

名前
名前を入力してください

メールアドレス
メールアドレスを入力してください

会社名
会社名を入力してください

支店名・部署名
支店名・部署名を入力してください

パスワード
パスワードを入力してください

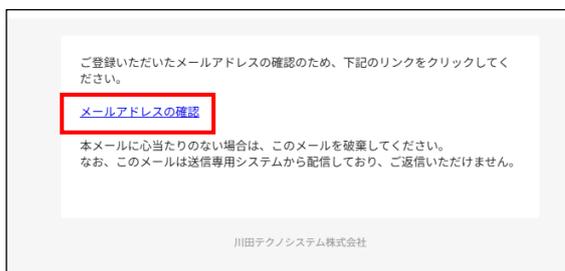
パスワードの確認
パスワードを再入力してください

利用規約に同意します (利用規約の表示)

戻る 登録

入力されたメールアドレス宛に、認証用メールが送信されます。

「メールアドレスの確認」リンクをクリックしてください。

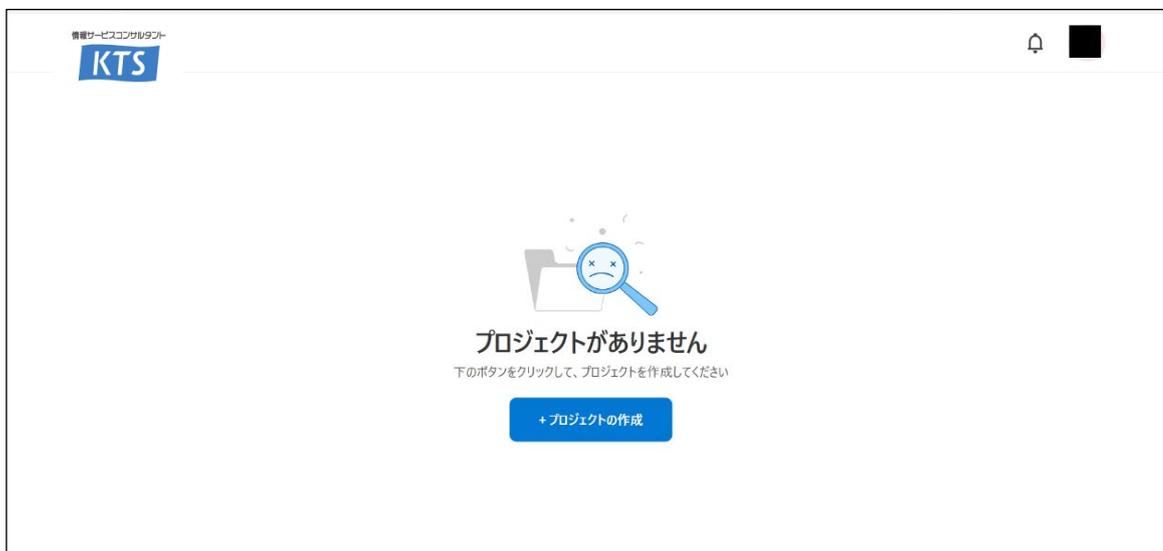
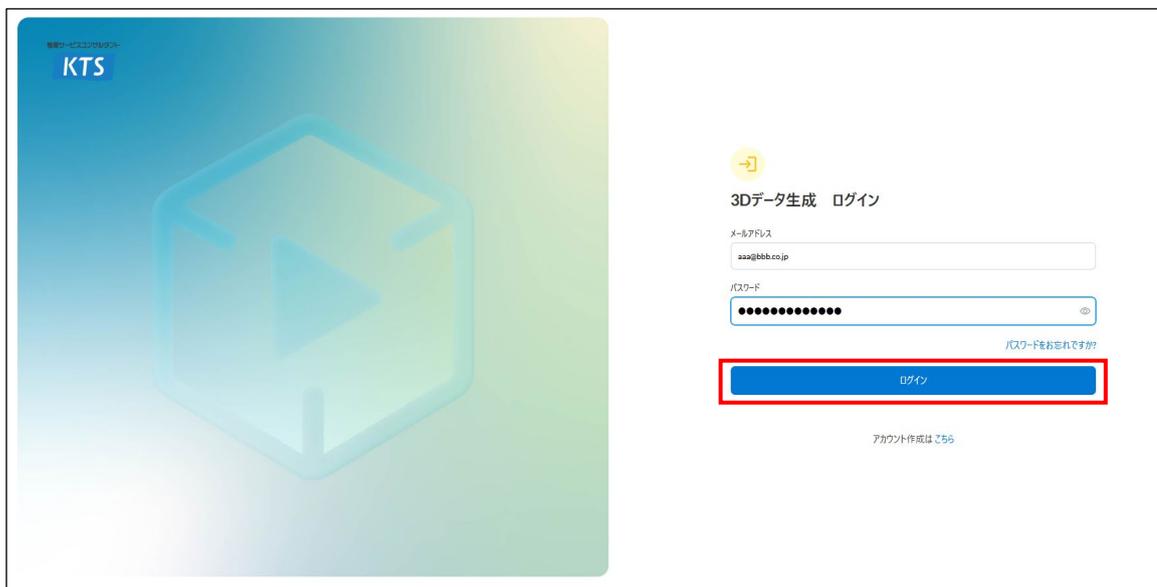


認証完了画面が表示されたら、アカウント作成は完了です。



1-2. ログイン

登録済みのメールアドレスとパスワードを入力し、「ログイン」をクリックします。



※パスワードを忘れた場合は、以下の手順でパスワードをリセットしてください。

ログイン画面上で、「パスワードをお忘れですか?」をクリックします。

3Dデータ生成 ログイン

メールアドレス
aaa@bbb.co.jp

パスワード
●●●●●●●●●●

パスワードをお忘れですか?

ログイン

アカウント作成はこちら

登録されているメールアドレスを入力し、「送信」をクリックしてください。

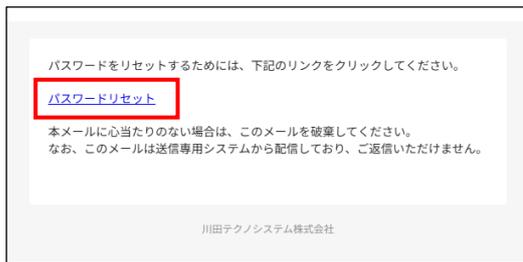
パスワードの再設定

メールアドレスを入力してください。パスワードをリセットするためのリンクを送信します

メールアドレス
aaa@bbb.co.jp

戻る 送信

送信されたメールを確認し、「パスワードリセット」リンクをクリックします。



新しいパスワードを入力し、「パスワードの再設定」をクリックしてください。



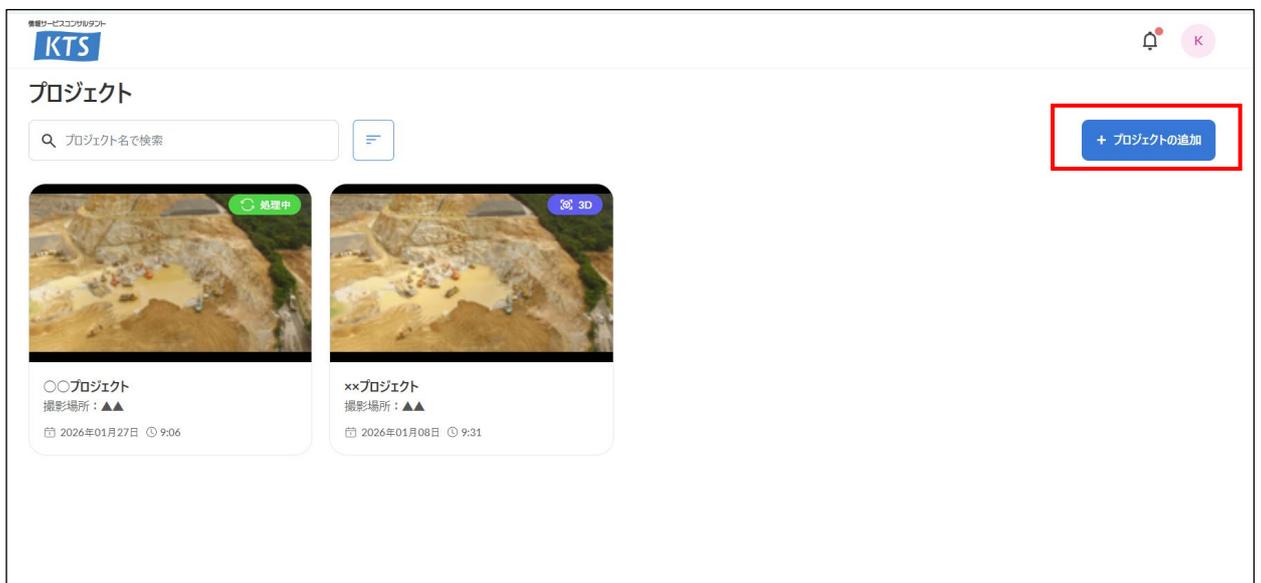
2. プロジェクトとフォルダの作成

ログイン後の画面には、プロジェクト一覧が表示されます。

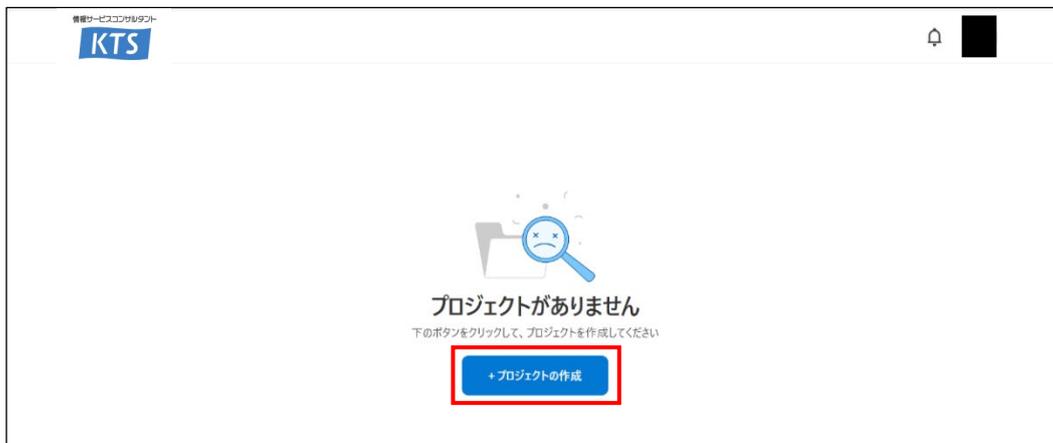
必要に応じて新しいプロジェクトを作成し、プロジェクトに動画・画像ファイルを追加します。1つのプロジェクト内に複数のファイルを登録でき、処理はファイル毎に実行されます。

2-1. プロジェクトの追加

「プロジェクトの追加」もしくは「プロジェクトの作成」をクリックします。



※初めてプロジェクトを作成する場合の画面↓



プロジェクト名と説明を入力し、「追加」をクリックします。

プロジェクト追加

プロジェクト名
〇〇プロジェクト

説明
撮影場所：▲▲
7/180

戻る 追加

プロジェクトがありません
下のボタンをクリックして、プロジェクトを作成してください
+プロジェクトの作成

プロジェクト一覧に新しいプロジェクトが追加されます。

情報サービスコンサルタント
KTS

プロジェクト

プロジェクト名で検索

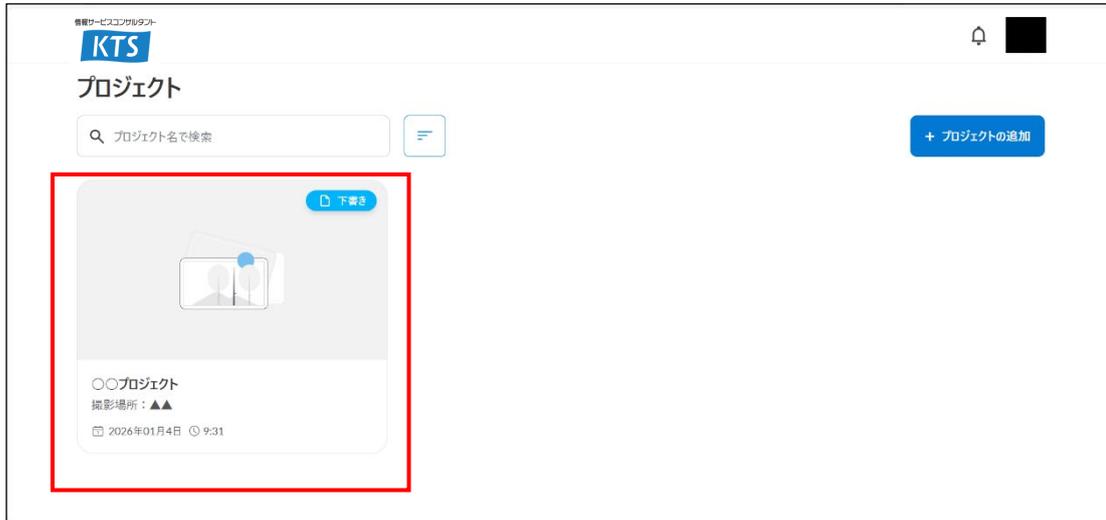
+プロジェクトの追加

ダウンロード

〇〇プロジェクト
撮影場所：▲▲
2026年01月4日 9:31

2-2. フォルダの追加/データのアップロード

フォルダを追加したいプロジェクトをクリックします。



「フォルダの追加」をクリックします。



フォルダ名を入力し、アップロードするファイルを選択してください。

アップロード方法は以下の2つです。

- ・[参照] をクリックしてファイルを選択
- ・ファイルを枠内にドラッグ&ドロップ

フォルダの追加

フォルダ名

○月○日

ファイルの選択

複数枚の画像もしくは最大5本の動画をアップロードできます。

ここにファイルをドロップするか、貼り付けるか、参照してください

戻る 次へ進む

アップロードが完了したら、「次へ進む」をクリックします。

戻る 次へ進む

アップロードしたデータが表示されます。

KTS

プロジェクト / ○○プロジェクト / ○月○日

○月○日 下書き

アップロード 処理を開始する

解析前データ 3Dデータ

動画

0:00 / 0:20

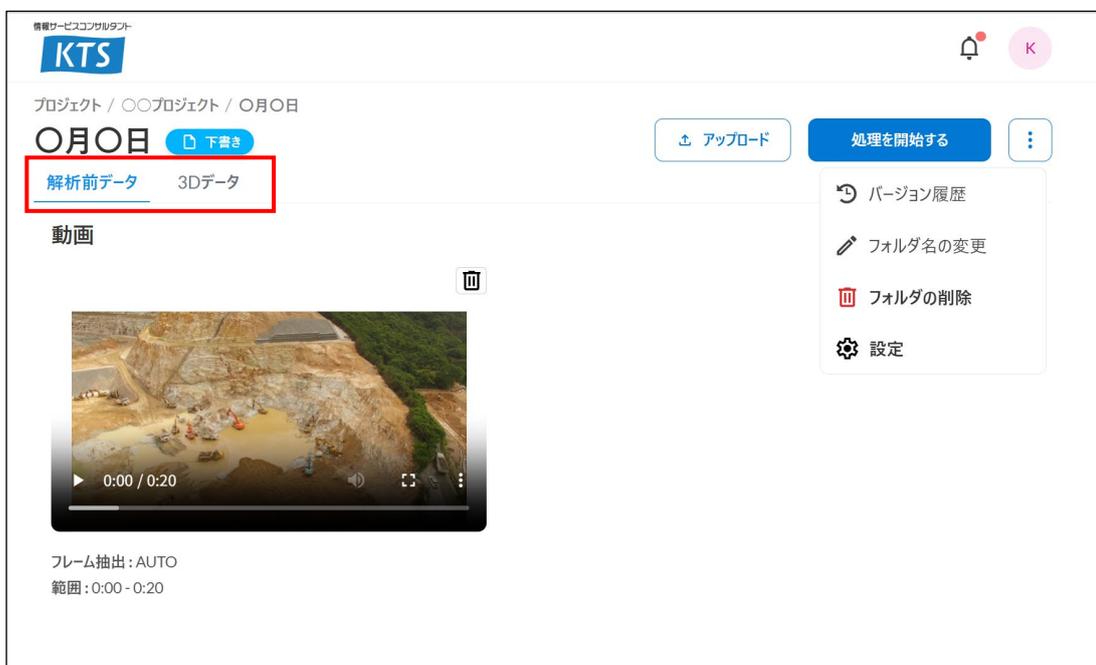
フレーム抽出: AUTO
範囲: 0:00 - 0:20

2-3. フォルダの編集等

フォルダ内では、2つのタブで画面を切り替えることができます。

「解析前データ」タブ：アップロードされた解析前データの確認

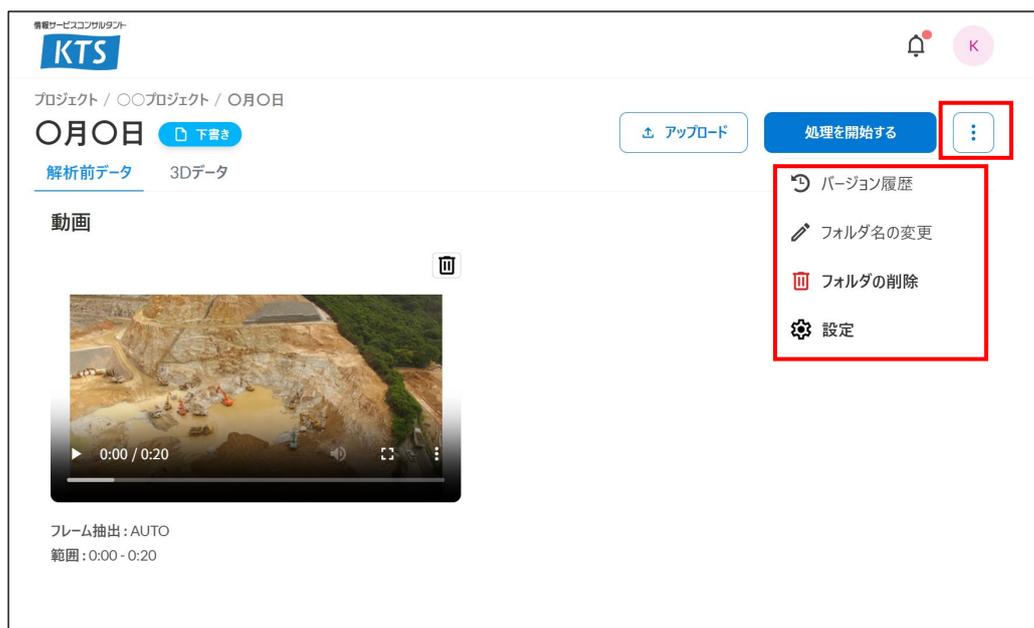
「3Dデータ」タブ：生成された3Dデータの確認



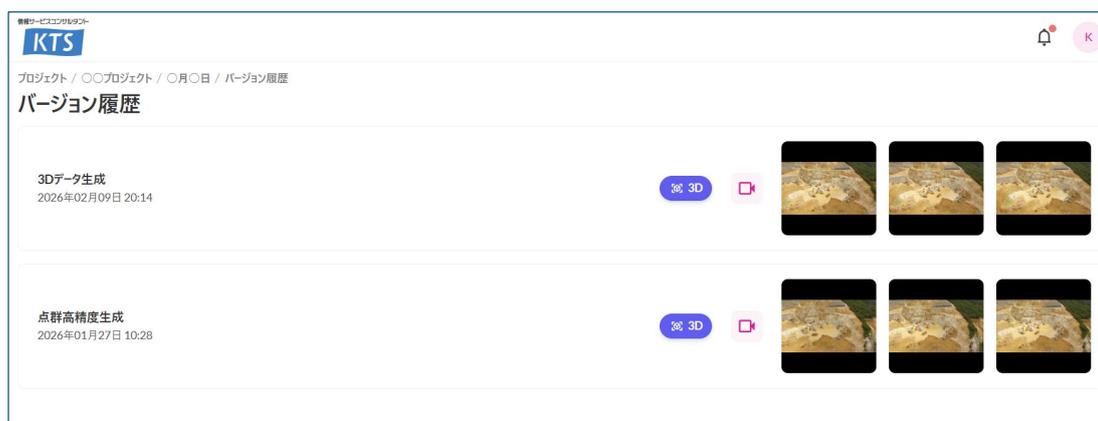
The screenshot displays the KTS software interface. At the top left, the logo 'KTS' is visible. Below it, the text 'プロジェクト / ○○プロジェクト / ○月○日' is shown. The main area features two tabs: '解析前データ' (Pre-analysis Data) and '3Dデータ' (3D Data). The '解析前データ' tab is currently selected and highlighted with a red box. Below the tabs, there is a video player showing a 3D model of a construction site. The video player has a progress bar at 0:00 / 0:20. Below the video player, the text 'フレーム抽出: AUTO' and '範囲: 0:00 - 0:20' is displayed. On the right side, a context menu is open, listing several options: 'バージョン履歴' (Version History), 'フォルダ名の変更' (Change Folder Name), 'フォルダの削除' (Delete Folder), and '設定' (Settings). The 'アップロード' (Upload) and '処理を開始する' (Start Processing) buttons are also visible at the top right.

フォルダ画面右上のメニューボタンをクリックすると、以下の操作を行うことができます。

- ・バージョン履歴の確認（※）
- ・フォルダ名の変更
- ・フォルダの削除
- ・設定（3-2.を参照）



※同一フォルダ内で複数回処理を行った場合、過去の処理結果はバージョン履歴として保存されます。



3. 3Dデータの生成

3-1. 3Dデータの生成

3Dデータを生成したいフォルダをクリックして開きます。



「処理を開始する」をクリックします。

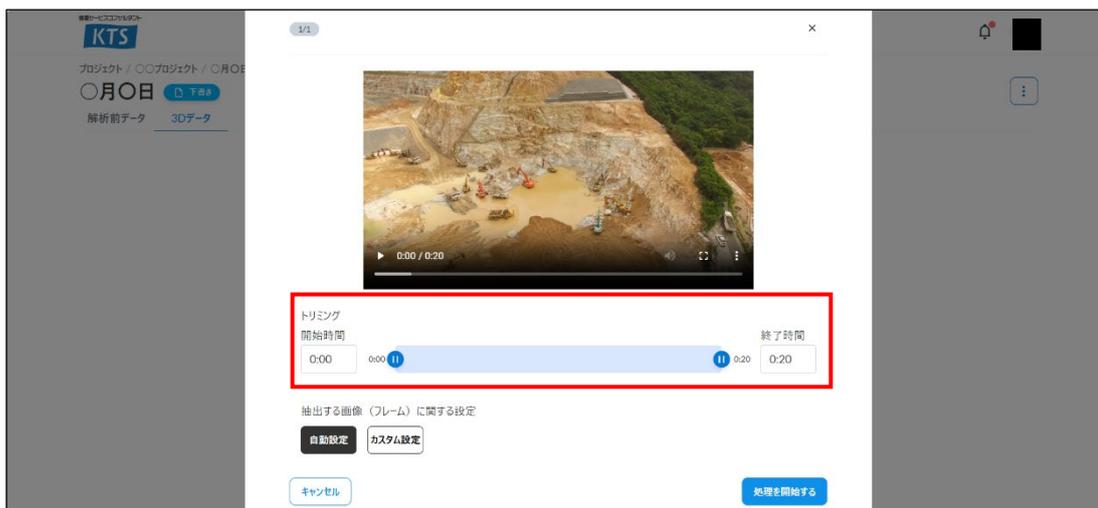
※データをアップロードしていない場合は、[2-2. フォルダの追加/データのアップロード]を参照し、アップロードを完了してください。



3D データ生成時の設定を行います。

※アップロードデータが画像のみの場合は、下図のポップアップは表示されず、自動的に処理が開始されます。

バーを操作して、解析対象とする動画の範囲を指定します。

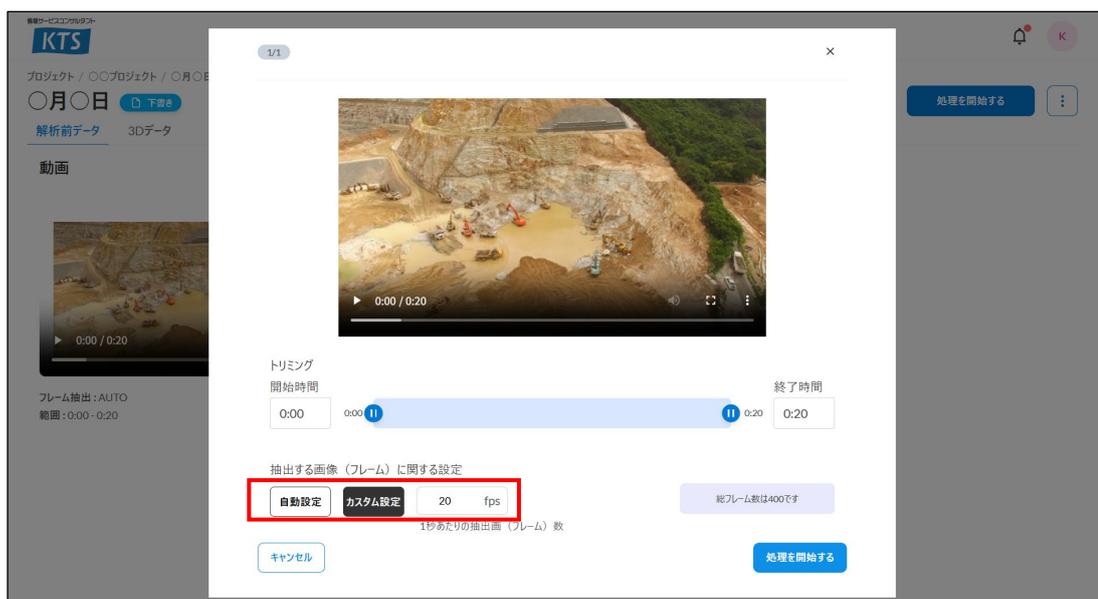


抽出する画像（フレーム）に関する設定を行います。

自動設定：1秒あたりに抽出するフレーム数が自動で設定されます。

カスタム設定：1秒あたりに抽出するフレーム数を指定します。（1～20fps の範囲）

fps 数を高く設定するとより詳細な解析ができますが、処理時間が長くなる可能性があります。

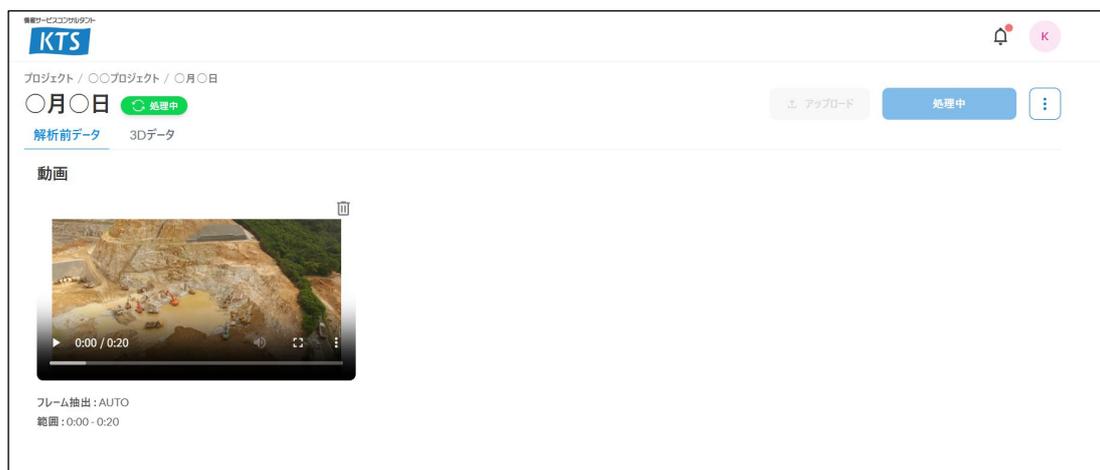


設定が完了したら、「処理を開始する」をクリックします。



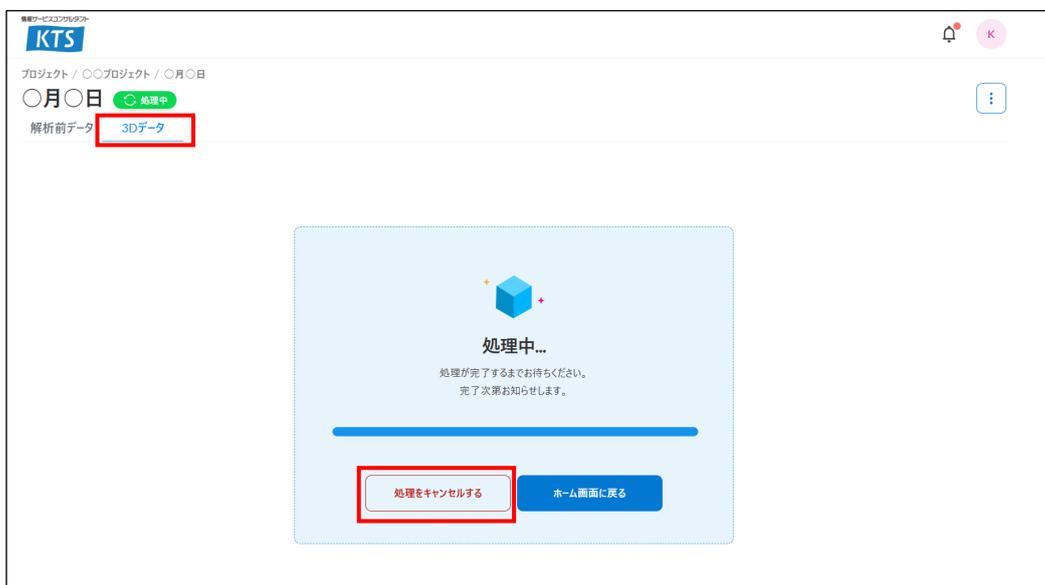
処理が開始されると、ステータスが「処理中」になります。

なお、ブラウザを閉じてても処理は継続されます。



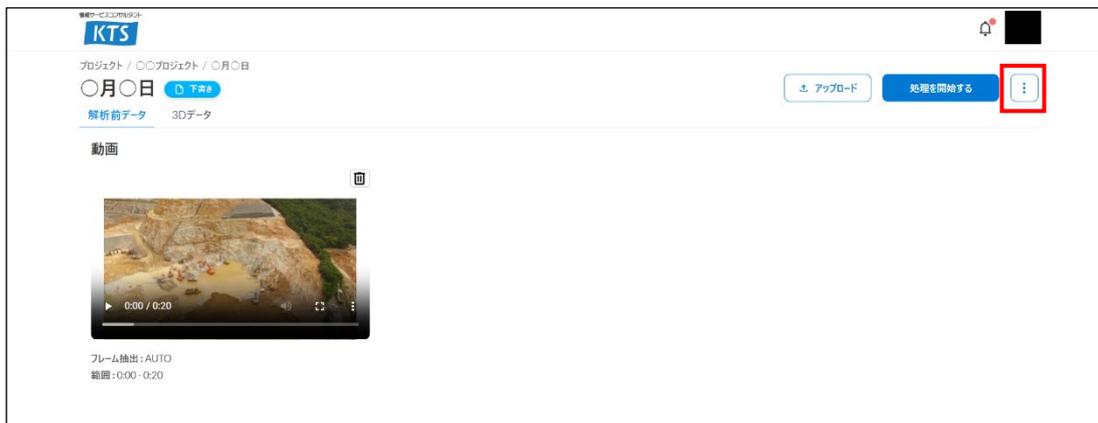
処理には時間がかかる場合があります。一定時間経過後に、ブラウザを更新するなどして結果を確認してください。

処理をキャンセルする場合は、フォルダ内の「3D データ」タブを開き、「処理をキャンセルする」をクリックしてください。

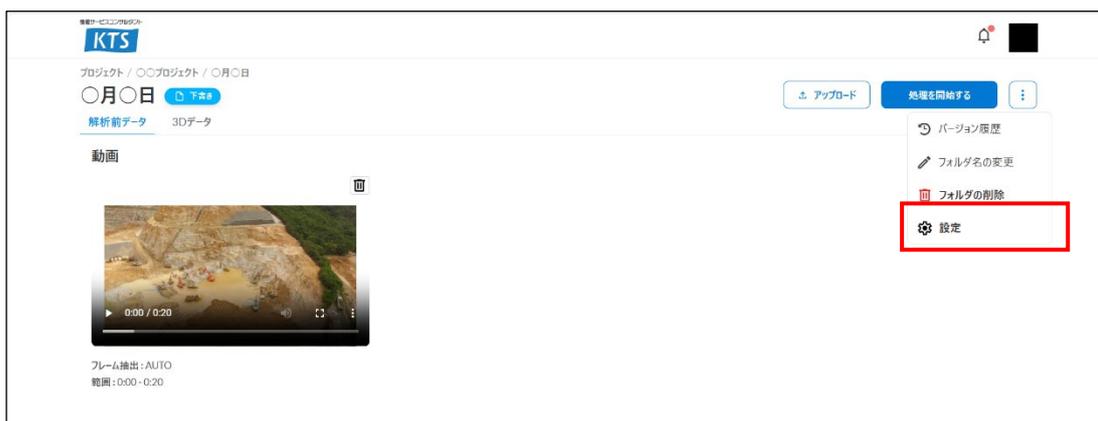


3-2. データ生成の詳細設定

フォルダを開き、右上のメニューボタンをクリックします。



設定をクリックします。



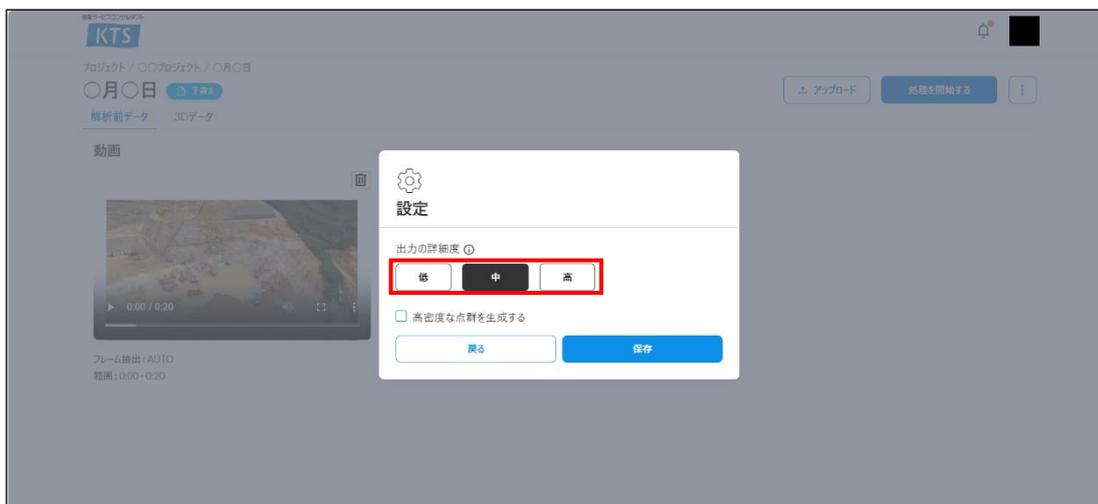
出力データの詳細度を以下から選択します。

なお、デフォルトでは「中」に設定されています。

低：出力速度は速いですが、細部の情報が欠ける場合があります。

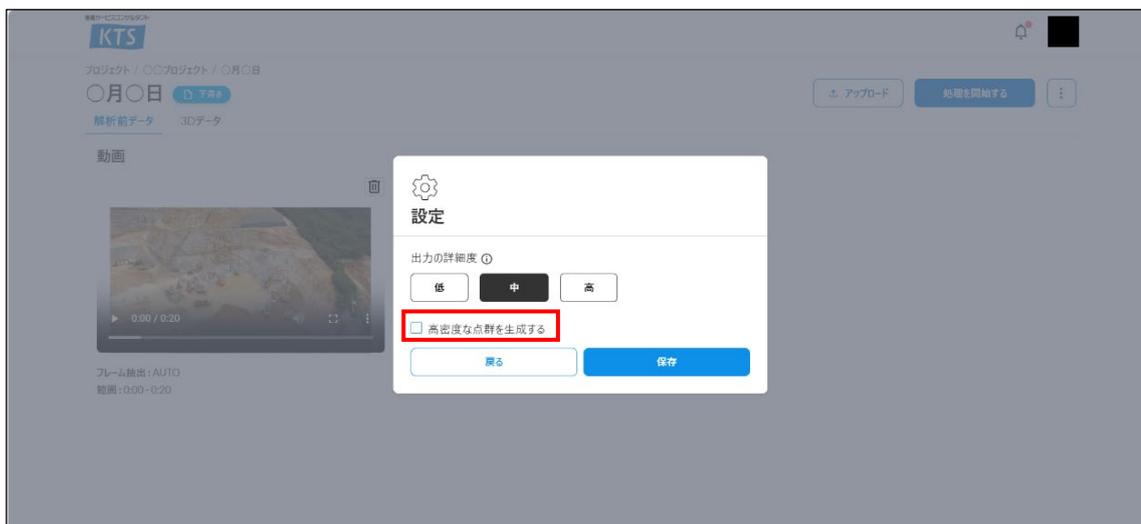
中：全体的にバランスの取れた出力で、ほとんどの画像に適しています。

高：細部まで再現しますが、生成に時間がかかりノイズが発生する場合があります。

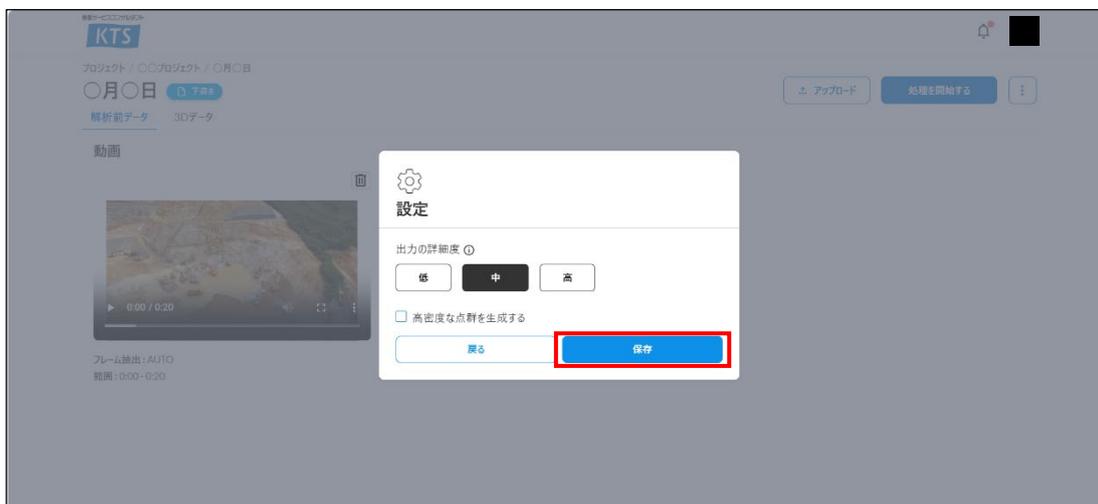


「高密度な点群を生成する」にチェックを入れると、超高精度の点群が生成されます。

※チェックを入れて処理を行うと、生成されるデータは点群のみとなります。

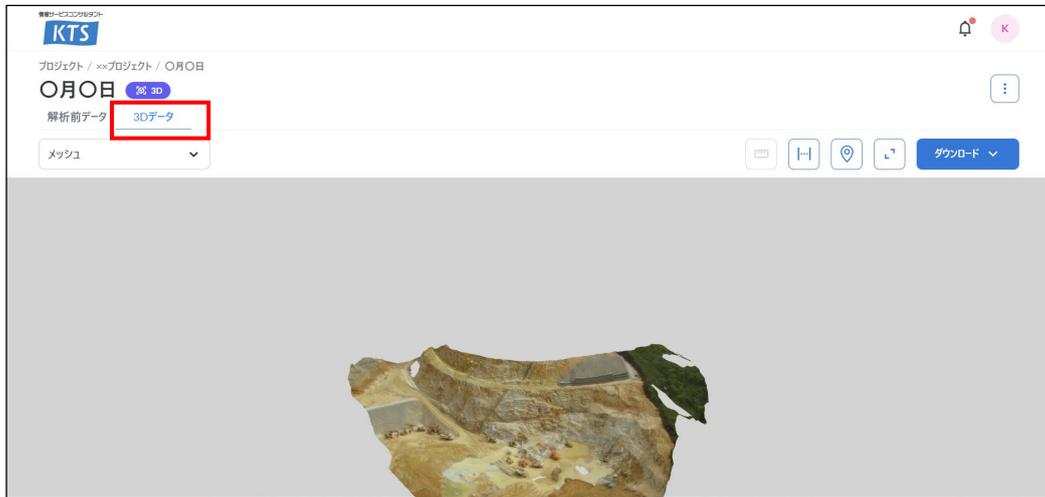


「保存」をクリックすると設定が保存されます。
以降の処理では、保存された設定が反映されます。



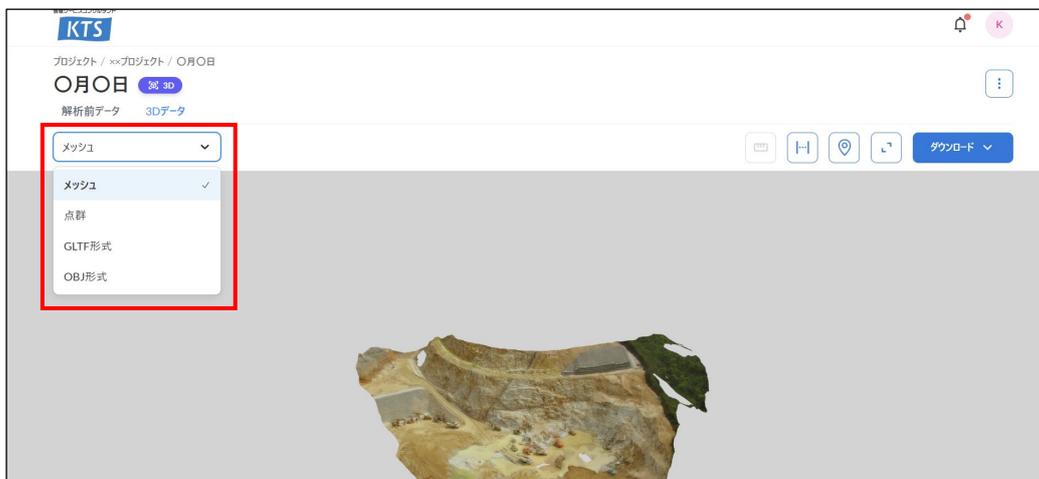
4. 結果の確認

生成結果は、フォルダ内の「3D データ」タブで確認できます。



画面左上のプルダウンから、表示する形式を選択できます。

(メッシュ、点群、GLTF テクスチャメッシュ、OBJ テクスチャメッシュ)



データをダウンロードする場合は、「ダウンロード」をクリックし、ダウンロード形式を選択します。

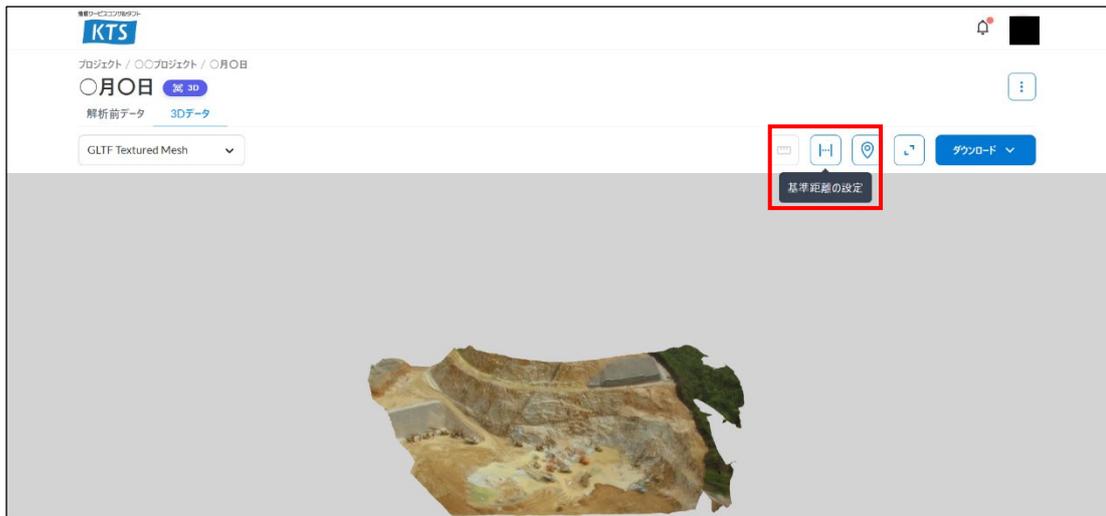


5. 距離の計測

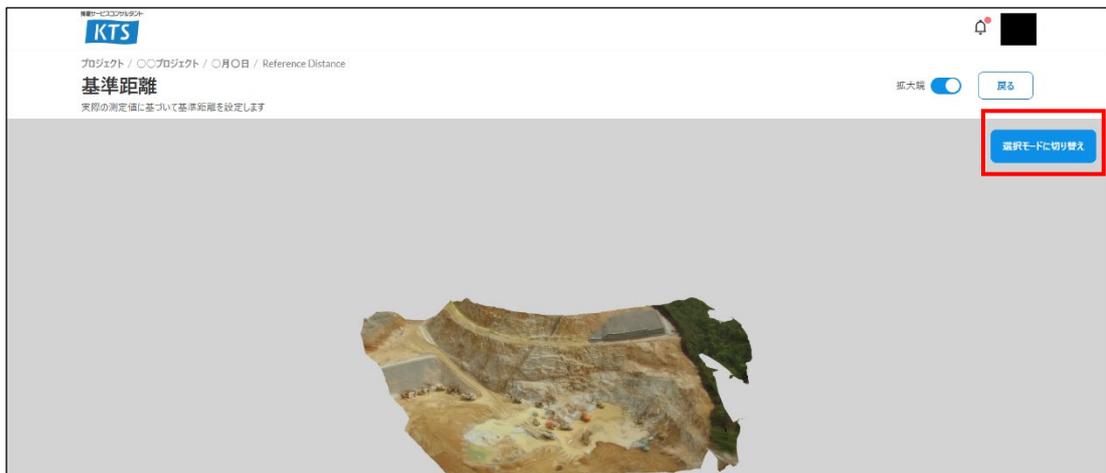
基準距離を設定することで、3D データ内で簡易的に距離を計測することができます。

5-1. 基準距離の設定

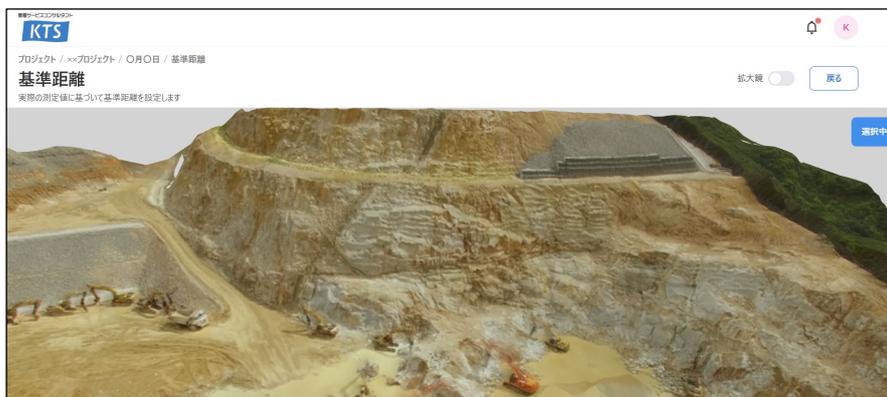
「3D データ」タブを開き、「基準距離の設定」アイコンをクリックします。



「選択モードに切り替え」をクリックします。



基準距離を設定するため、データ上の2点をクリックして線分を描画します。



クリックした2点間の距離を入力し、単位をプルダウンから選択します。



「保存」をクリックします。

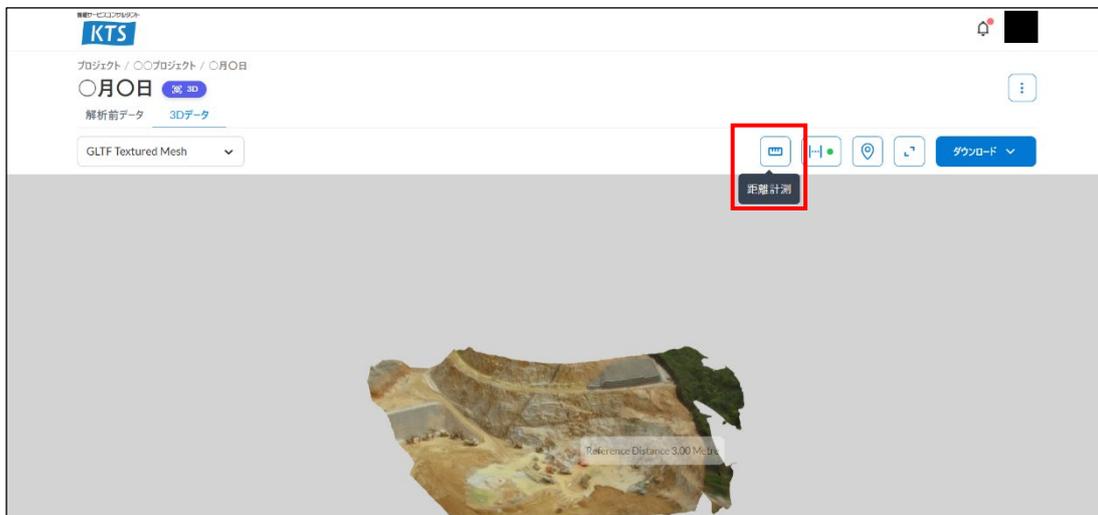


メッセージが表示されれば設定完了です。

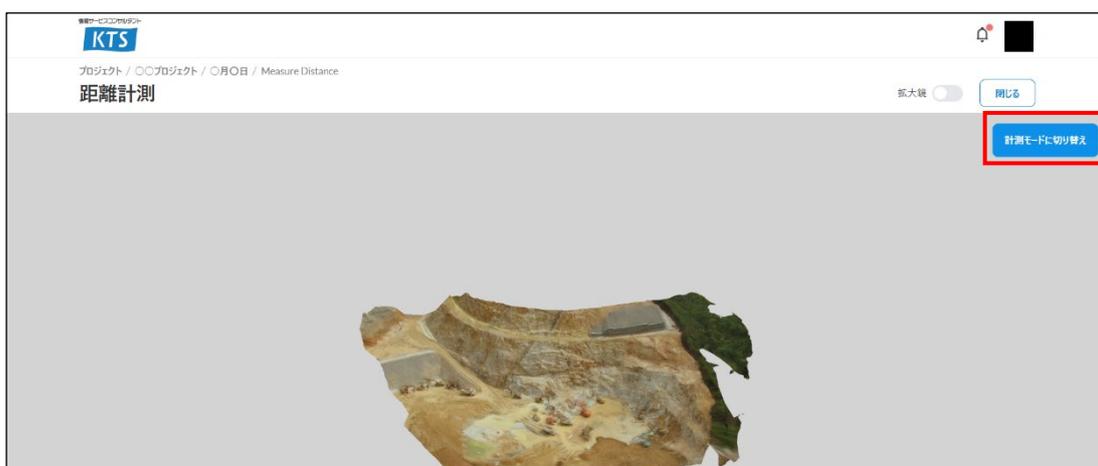


5-2. 距離の計測

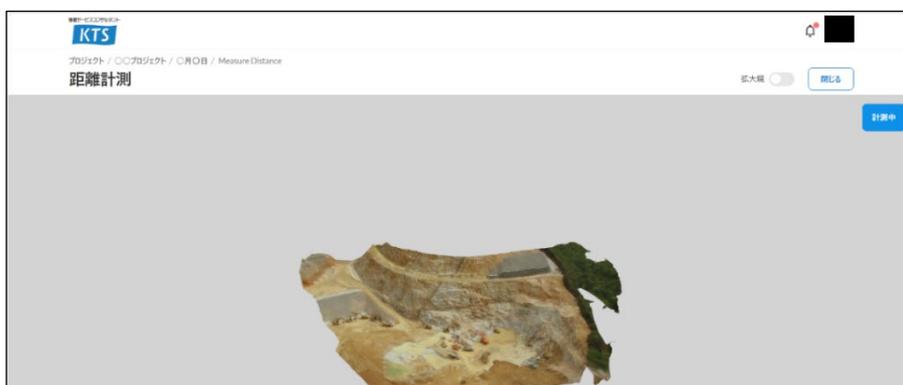
「距離計測」アイコンをクリックします。



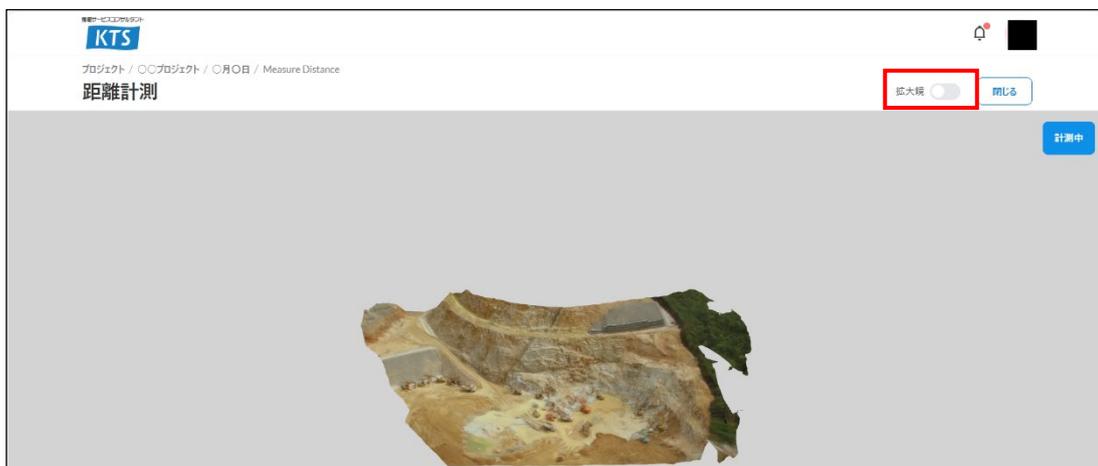
「計測モードに切り替え」ボタンをクリックします。



計測したい箇所の開始点と終了点の2点をクリックで指定します。

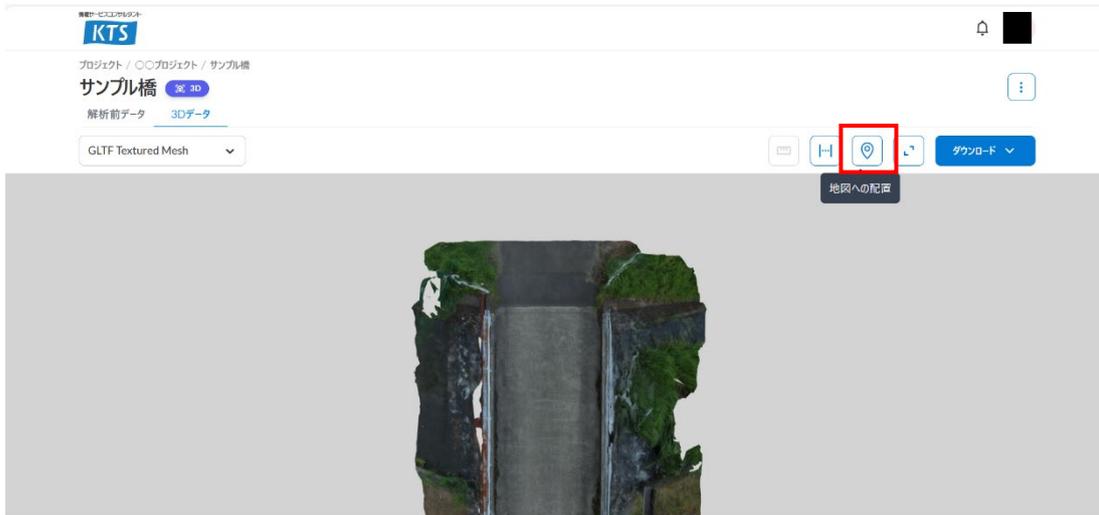


※拡大鏡をオンにすると、3D データ上でカーソルを合わせた箇所が拡大表示されます。



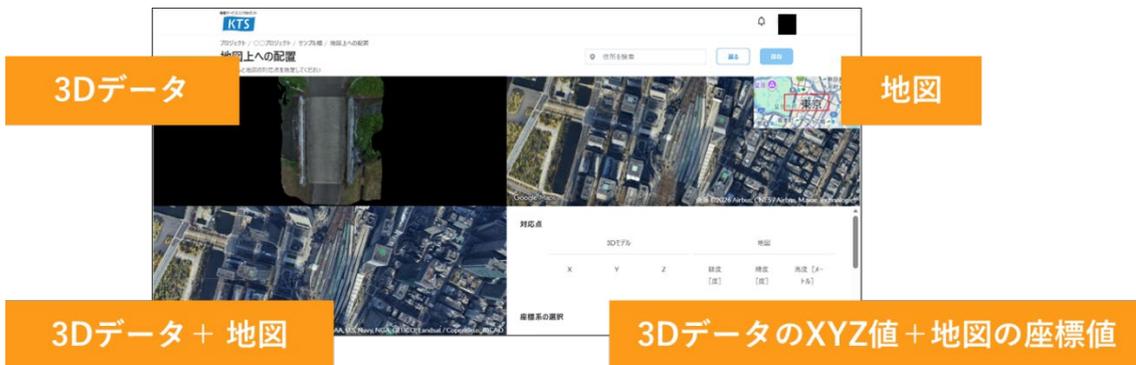
6. 地図への配置

「3D データ」タブを開き、「地図への配置」ボタンをクリックします。

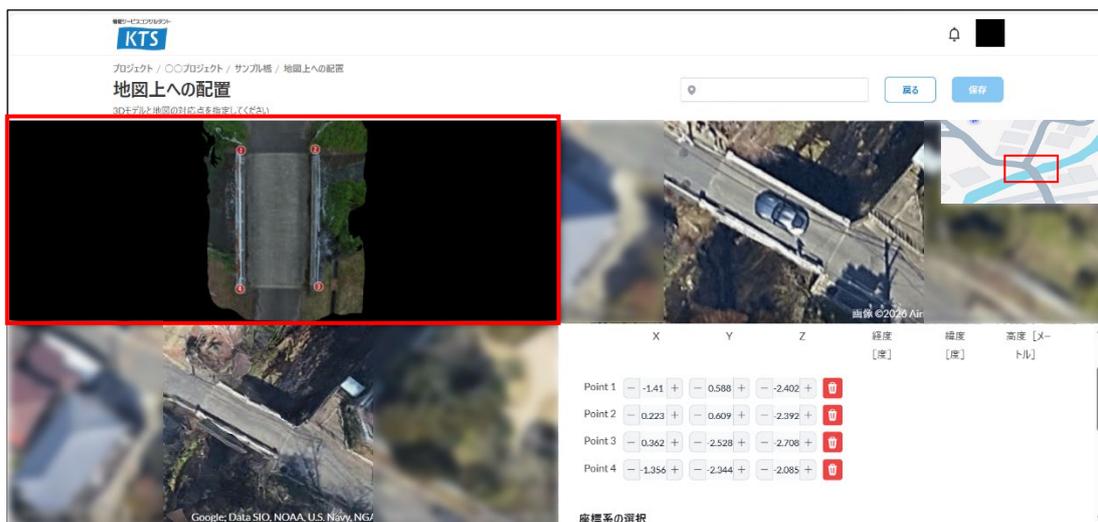


画面が4分割で表示されます。

- 左上：生成された3Dデータ
- 右上：地図
- 左下：3Dデータと地図への配置イメージ
- 右下：3DデータのXYZ値および地図の座標値

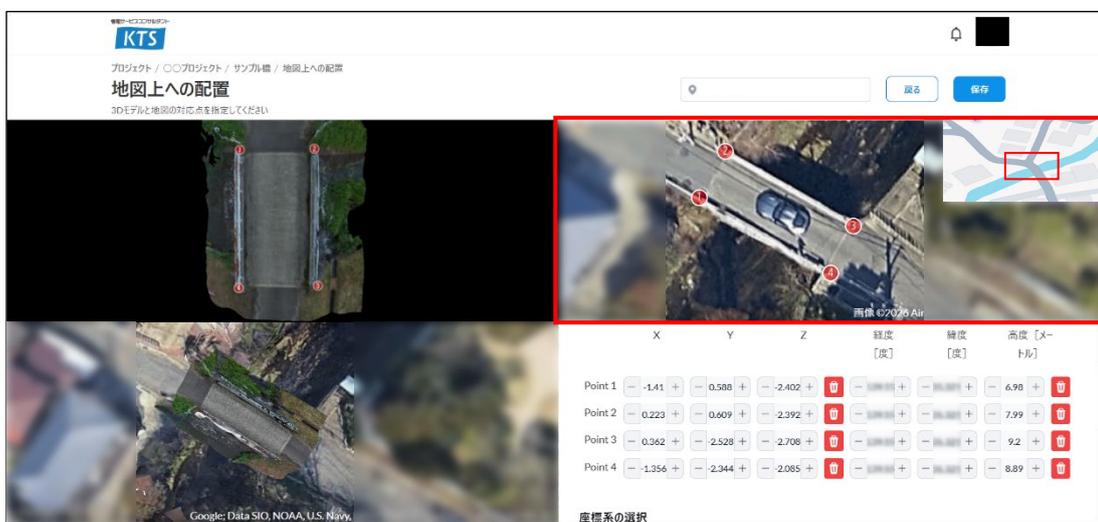


左上の画面にて、3D データ上の 4 点をクリックして指定します。



右上の画面にて、地図上の 4 点をクリックして指定します。

※3D データ上の点 (①~④) と地図上の点 (①~④) が対応し、その位置で重ね合わせを行います。

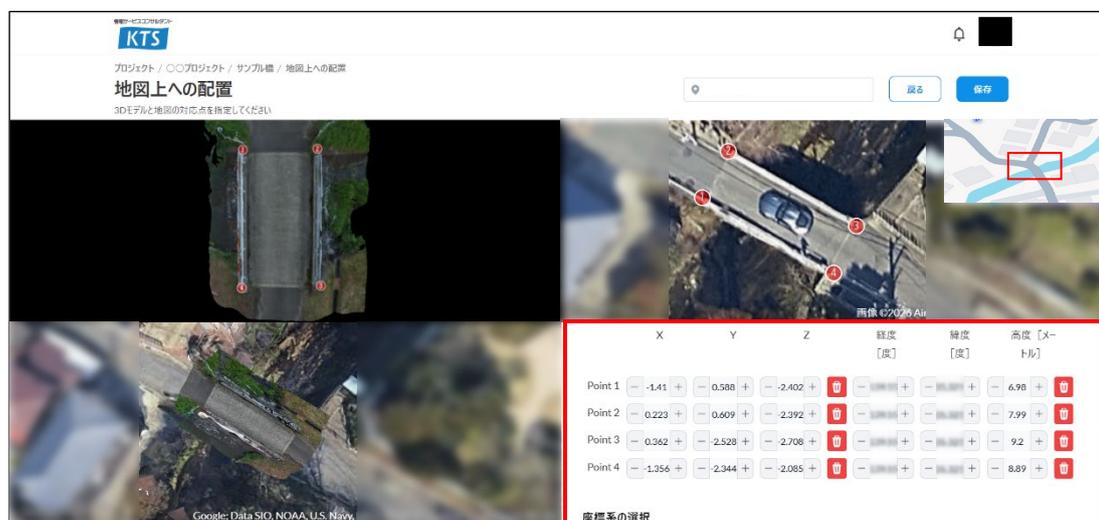


左下の画面に位置合わせ後のプレビューが表示されます。



位置がずれている場合は、右下の画面で以下の値を調整します。

- ・3DデータのXYZ値（モデル中心部からの距離）
- ・地図の座標値（緯度・経度・高度）



位置合わせが完了したら「保存」ボタンをクリックして設定を保存します。

プロジェクト / ○○プロジェクト / サンプル橋 / 地図上への配置

地図上への配置

3Dモデルと地図の対応点を指定してください

	X	Y	Z	経度 [度]	緯度 [度]	高度 [メ ートル]
Point 1	-1.41 +	-0.588 +	-2.402 +	-113.000 +	35.680 +	6.98 +
Point 2	-0.223 +	-0.609 +	-2.392 +	-113.000 +	35.680 +	7.99 +
Point 3	-0.362 +	-2.528 +	-2.708 +	-113.000 +	35.680 +	9.2 +
Point 4	-1.356 +	-2.344 +	-2.085 +	-113.000 +	35.680 +	8.89 +

座標系の選択

※「地図への配置」ボタンの隣に●が表示されている場合、そのボタンをクリックすると前回保存された地図配置データが表示されます。



再度調整して [保存] ボタンをクリックすると、設定が上書き保存されます。



	X	Y	Z	経度 [度]	緯度 [度]	高度 [メ- ートル]
Point 1	-1.41 +	-0.588 +	-2.402 +	-113.000 +	-113.000 +	6.98 +
Point 2	0.223 +	-0.609 +	-2.392 +	-113.000 +	-113.000 +	7.99 +
Point 3	-0.362 +	-2.528 +	-2.708 +	-113.000 +	-113.000 +	9.2 +
Point 4	-1.356 +	-2.344 +	-2.085 +	-113.000 +	-113.000 +	8.89 +

7. 解析が安定しやすいデータの特徴

- ・カメラのぶれが少ない。
- ・被写体に対し、一定の距離が保たれている。
(途中で極端に近づいたり離れたりにしていない)
- ・連続した画像をアップロードする場合、画像どうしが重なる部分が十分に存在する。
(少なくとも 60%以上の重なりが存在する)
- ・画像の重複部分に、認識しやすい特徴や基準点が存在する。

これらの特徴を持つデータでは、より良い解析結果が得られる傾向がありますが、必ずしもすべてのケースで成功するとは限りません。

改訂履歴

2026 年 2 月 16 日 初版
